

2020（令和2）年度活動報告

1. 2020年度の社会情勢

新型コロナウイルス感染拡大が世界中で続き、日本でも3度目の緊急事態宣言が出されました。感染者数は一度少なくなったように見えても波のように変化を続け、現在は第4波といわれる大きな波が来ています。宮崎県でも感染者が再び50人を超えました。全国的に、医療面でも経済面でも危機的な状況になっています。

行事やイベントが中止になったり、外出や買い物が思うようにできなくなったりして、国民の生活も大きな影響を受け続ける日々です。

県協会も、2020年10月の全国ろうあ者体育大会（サッカー競技）、2021年3月の宮崎県耳の日記念大会をはじめとした様々な行事を予定していましたが、感染拡大の影響を受けてほとんど全ての行事・イベントを中止にせざるを得なくなりました。また、県協会・県センターの運営方針や価値観の相違を理由とした都城市聴覚障害者協会会員の集団退会という大変重い事態も発生しました。

高齢聴覚障害者への支援等の従来からの課題に加えて、こういった数多くの難題に同時に対応することは簡単なことではありません。

県協会定款において『多様な福祉サービスが利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫する』ことで、利用者が『個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を社会的に営むことができるよう支援する』ことを目的と定めています。これが私たちの活動の原点です。

県協会の70年に亘る長いあゆみの中で、初期から活動してこられた役員、会員の方々が高齢となられ、活動の中心が若い世代へと移行していく中で、活動の内容も大きく要変わりしてきています。しかし、活動の原点は決して揺らがぬものでなければなりません。

私たちの活動の原点、方向性を役員、会員皆で再確認し、一丸となって取り組んでいくことが必要です。

2. 全国的な運動

（1）新型コロナウイルス感染症対策について

全国の新型コロナウイルス感染者は5月7日現在で62万8千人を超えました。昨年4月時点では1万人あまりでしたので、感染はもはや他人事ではなく、私たちも知らないうちに感染してもおかしくない状況になっています。昨年4月に全国一律の緊急事態宣言が出された後は、感染拡大地域のみならず今年1月、今年4月に緊急事態宣言が出されました。その度に事業者、飲食業などに大きな影響が出た一方で、自粛に従わない動きも目立つようになり、宣言の効果が薄くなっている面がでてきています。

そういった情勢の中で期待されているのが新型コロナワクチンです。65歳以上の

高齢者を対象にしたワクチン接種が県内でも始まりました。ただ、予約希望が殺到して簡単に予約が取れない状況が全国各自治体で多く起きており、国民全員が接種を終えるには、まだまだ時間がかかりそうです。新型コロナウイルス感染がさらに広がった時に、ワクチン接種に手話通訳者の派遣ができるのかという懸念もあります。市町村に対して筆談などでも対応できる方々への合理的配慮の提供、手話通訳者の派遣が難しい場合の遠隔手話サービスの活用等について働きかけていく予定です。

全国の都道府県知事会見に手話通訳が付きましたが、テレビ放送では手話通訳者が映らないという課題が全国的に起きています。共通課題として、テレビ局に対して手話通訳者を画面に映す、あるいはワイプを導入することについての要望を行う必要があります。全日本ろうあ連盟と連携協力して課題解決に取り組むほか、感染拡大の中でも通訳者が安心して業務に取り組めるよう、遠隔手話サービス等を活用した対応について検討していきます。

(2) 「手話言語条例」制定に向けての動き

4月30日現在、全国では31道府県15区296市61町2村、計405自治体で条例が制定されました。ただ、宮崎県内を見ると、条例制定で生活が大きく変わったとは言いづらい状況です。生活の様々な場面で情報保障がなされるよう働きかけていくと同時に、法的な根拠となる「手話言語法」制定につながるよう、全日本ろうあ連盟等と連携協力して粘り強く訴えていきます。

3. 県内の主な出来事

(1) 宮崎県内の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

5月12日現在、宮崎県では40名の感染者が確認されています。2月～4月中はほぼゼロペースで推進していましたが、変異ウイルス等の影響もあって再び感染者が増加し、宮崎県は5月末まで独自の緊急事態宣言を発令しました。

昨年、新型コロナ感染症に対する情報保障を宮崎県に対して要請した結果、県知事会見への手話通訳付与、遠隔手話サービスの整備が実現しました。

この中で、遠隔手話サービスは現時点では新型コロナウイルス感染、または感染の恐れがある場合に限定されていることもあって、まだ利用実績はありません。実際に利用する必要が出てきたときにスムーズに活用できるのか、課題がありますので、各地区協会、貸し出しタブレットを配置する県施設、医療機関等と連携しての利用体験会、説明会を検討しています。このほか、感染者が拡大する中でのワクチン接種における手話通訳等、通訳者の感染リスクが高まっていますので、早急に遠隔手話サービス等も含めた合理的配慮の実施について、県内自治体に対して要望する方針です。

県知事会見の手話通訳付与については、定例会見、緊急会見に手話通訳者が付き、原則としてその日のうちに宮崎県ホームページで動画が配信されていますが、テレビ局各局が実施しているインターネット配信では、手話通訳者が画面から見切れてしまう課題が出ています。当初はそれでも手話通訳者が画面に映り、手話が読み取れる時

がりましたが、5月に2度目の県独自の緊急事態宣言が発令されてからは、手話通訳者が画面に全く映らなくなりました。

聴覚障害者であっても、他の方々と同時にリアルタイムで情報を入手できるよう、県に対してはリアルタイム配信を、そしてテレビ局各局には手話通訳者を画面に映す配慮（またはワイドの導入）と難聴者、中途失聴者を対象とした字幕の導入を働きかけていく方針です。

（2）宮崎県手話言語条例に関わる取り組みについて

新型コロナウイルスへの対応に県内自治体、県協会ともに追われたこともあって、手話言語条例及びその啓発活動について大きな動きは見られません。ただ、遠隔手話サービス等の様々な事業の理念にも関わる大切な内容ですので、宮崎県及び制定自治体と協力して、県民への啓発活動に引き続き取り組んでいきます。

4. 県協会の取組み

（1）2020年度に実施予定だった行事を全て中止

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、第54回全国ろうあ者体育大会（サッカー・フットサル競技）、第45回宮崎県耳の日記念大会など、県協会主管、あるいは主催で開催予定だった行事は全て中止となりました。ここまで行事の開催ができなかった年は前例がありません。

全国や九州でも行事の中止が相次ぎましたが、その一方で感染が落ち着いたタイミングでの開催、遠隔リモートを活用した開催などが一部実現しました。ただ、感染が落ち着いたタイミングといっても、実際には感染の状況は当日までどうなるかわからず、多くの人が集まる行事は常に中止のリスクを抱えながら行わなければなりません。遠隔リモートを活用する場合の開催は比較的容易ですが、利用者が遠隔リモートに慣れておらず、参加がスムーズにできなかった事例もありました。

いずれも良い点と注意すべき点がありますが、当面は新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くことを考えると、遠隔リモートについての学習会・体験会を実施することで、行事の実施につなげていくことが大切です。Zoomの契約も行いましたので、今年度は各地での遠隔リモート体験会・学習会の実施に向けて取り組んでいきます。

（2）新型コロナウイルス感染症関連の取り組み

遠隔手話サービスのパンフレット及び利用説明のDVDを作成し、各地区協会、県内自治体、宮崎県医師会等に配布を行いました。また都城地域の聴覚障害者を対象に、遠隔手話サービスについての説明会を行いました。説明会については、他の地域でも実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて計画が進んでいません。聴覚障害者はもちろんですが、利用に関わる県施設職員、医療関係者にも実際に参加していただくことが大切ですので、都城地域での再実施も含めて、年度内には県内での説明会を各地域で実施する予定です。

5. 課題事項について

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大によって協会・センターの活動に大きな制限がかかったことと、都城市聴覚障害者協会の集団退会が大きな課題となりました。この2点の問題は、県協会及びセンターをどのように運営していくのか、会員の皆さんはもちろん、様々な課題を抱える県内聴覚障害者をどのように支援していくのかという、私たちの活動の根幹につながるものであり、一人ひとりが改めて自らの活動の原点を再確認しなければならないことを明らかにしました。

私たちは、改めてこの原点を見直し、今後も県協会の運営を続けていくために必要なことについて創意工夫して取り組んでいかなければなりません。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症に対しての様々な情報支援に取り組むほか、県協会の長期ビジョンについて具体化し、実際に協議を開始していくための期間と位置付けて、活動に取り組んでいきます。

6. 各専門部事業

2020年度における各専門部事業、県立聴覚障害者センター事業の詳細は後続の報告書のとおりですので、ご検討と意見をお願いします。

2020（令和2）年度 社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会 事業報告

総務部

（1）関連組織との連携

全日本ろうあ連盟、九州聴覚障害者団体連合会、各地区協会、各専門部の事業の連絡調整

（2）各種大会及び研修会参加の推進（主な事業）

- ・第68回全国ろうあ者大会

日 程：2020年6月11日～14日

会 場：愛知県名古屋市 名古屋国際会議場他

※新型コロナウイルス感染予防のため、大会を中止決定。

- ・第69回全九州ろうあ者大会・第48回全九州手話通訳者研修会

日 程：2020年9月11日～13日

会 場：沖縄県那覇市

※新型コロナウイルス感染予防のため、大会を中止決定。

（3）全国手話研修センター後援会加入の推進

- ・宮崎県は会員2名（目標100名）

※目標突破を目指して、頑張って取り組んでいく。

（4）県協会拡大専門部長オンライン会議の開催

- ・県協会拡大専門部長オンライン会議は、「zoom」を使って、昨年11月より本格的に開催。

組織部

1、2015年度～2020年度までの県協会会員拡大状況

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
210名	208名	193名	185名	117名

（昨年度と比べると68名減）

・データを見て分かるように毎年会員数が減少している。特にコロナ禍感染のため、行事などが中止になったことや都城市聴覚障害者協会の会員が多く脱退した影響で急減している状況。宮崎県だけでなく、全国でも同様に会員の減少傾向にある。何故なのか？会員の方々の声を聞いて、今後いい方向に進めていけるように努めていく。

2、日聴紙購読状況

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
150名	169名	171名	158名

・県協会会員の方々の中で、購読している人が少ないと聞いています。今後、県協会会員と共に購読拡大に取り組んでいきたいと思えます。

3、年間三大大行事開催

第69回九州ろうあ者大会と第68回全国ろうあ者大会は、新型コロナウイルス感染流行のため、中止決定。

令和2年度九州ブロック幹部研修会 in 長崎が開催され、宮崎県から一人参加。

体育部

1. 実施した事業

(1) 第57回全九州ろうあ者スポーツ大会

日程 : 2020年5月16~17日

開催地 : 大分県

コロナウイルス影響により開催中止

(2) 第54回全国ろうあ者体育大会

日程 : 2020年9月18~20日

2020年9月26~27日

2020年10月2~4日

開催地 : 九州各地

コロナウイルス影響により開催中止

(3) 2020年度九聴連体育委員会会議出席

日程 : 2020年12月12日

開催方法 : zoomによるオンライン会議

2. 成果と課題

コロナウイルスの影響により大会が開催中止となり、デフスポーツ団体との連携、デフスポーツ発展、普及活動が難しい状況であった。

参加者が出来るだけ不安払拭できるようなコロナウイルス対策を検討し、参加しやすい環境を整えなければならない。

教育対策部

1. 実施した事業

(1) 宮崎県聴覚障がい教育フォーラムの開催

11月23日 手話言語フォーラム

→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(2) 運営委員会の開催

・第1回運営委員会 5月9日(土)10:00~12:00

→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

・第2回運営委員会 9月13日(日)10:00~12:00

→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

・第3回運営委員会 2021年3月6日(土)10:00~12:00

→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(3) 個人会員の拡大

2. 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大のため、活動ができなかった。また、教育フォーラムの在り方について検討する時期に来ており、現在は休止という形になっている。聴覚障がい教育については課題が山積であり、啓発の必要性を感じていることから、新たな形について検討を重ねていきたい。

手話通訳対策部

実施した事業

- ① 手話通訳者の養成
 - ・ 県内登録手話通訳者の増加に向けた取り組みの検討
- ② 手話奉仕員・手話通訳者養成講座事業に係る講師の養成
 - ・ 全国や九州の講師研修会等への参加奨励、県内講習会の実施
- ③ 各種研修会への参加奨励の取り組み
 - ・ 第53回全国手話通訳問題研究集会 8月21日～23日 石川県
 - ・ 第48回全九州手話通訳者研修会 9月12日 沖縄県
 - ・ 九州ブロック現任手話通訳者研修会 10月24日～25日 福岡県
 - ・ ろう講師研修会 11月29日 県センター
 - ・ 九州ブロック手話指導講師養成研修会
2021年2月20日～21日 鹿児島県

福祉労働対策部

1. 実施した事業

1) 宮崎県に要望書を提出しました。

新型コロナウイルスにおける情報保障の聴覚障害者への配慮について、当初県知事会見に手話通訳がないなど、情報保障面の不足面がありましたので、宮崎県に聴覚障害者への情報保障を行っていただくよう要望を行いました。

2) 宮崎労働局に要望書を提出しました。

ハローワーク手話協力員が、宮崎ハローワークに1名のみですので、延岡、都城等のハローワークにも手話協力員を配置すること、手話協力員が就労支援に同行できるようにすること等を要望しました。

3) オンラインによる福祉労働担当者会議に出席しました。

日時：2021年1月9日（土） 16:00～18:00

会場：堀田自宅パソコンからオンライン参加

参加県：石川県・福井県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県

【議題】

- 1) 労働局への要望について
- 2) コロナ禍におけるろう者の課題と支援について

2. 成果と課題

新型コロナウイルスにおける情報保障については、県知事会見（定例会見・緊急会見）に手話通訳の導入が実現しました。しかしテレビ局の報道では手話通訳が画面から切れる、字幕がなく難聴者・中途失聴者への情報保障が変わらず実現していないなどの課題があります。新型コロナワクチン接種における情報保障の問題もありますので、県内テレビ局（NHK、UMK、MRT）に、配慮を要望するほか、宮崎県及び県内

自治体に、ワクチン接種における情報保障の配慮について要望書を提出したいと考えます。

新型コロナウイルス関連で通常の手話通訳派遣が困難な場合を対象とした遠隔手話サービスも始まりました。ただ、スマートフォンやタブレットを持たない方への対応などが課題となっていますので、県と引き続き交渉していきます。また、災害時等の活用などのサービスの発展に合わせて、パンフレットや説明 DVD の第2弾作成等も進めていきます。

全日本ろうあ連盟によるオンライン会議の機会が増えてきました。オンライン会議となることで、全国の様々な取り組みによる情報も入りやすくなることが期待されます。

国政・県政への要望・意見交換会の機会は、2020 年は新型コロナウイルスの影響で中止となったものが多くありました。今年度の案内は届き始めていますので、要望を行っていきます。

高齢部

- | | |
|--|------|
| (1) 第 69 回全国ろうあ者大会・高齢者の集い（栃木県） | 中止 |
| (2) 第 27 回九聴連高齢部研修会 未定 | 未定 |
| (3) 第 70 回全九州ろうあ者大会高齢者研修分科会 9月 11 日 | 鹿児島県 |
| (4) 第 33 回全国ろうあ高齢者大会
第 35 回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会
第 12 回全国ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会
9月 23 日～26 日 | 岐阜県 |

新型コロナウイルス感染対策のため会員が集まるのが難しく、事実上休部状況にある。

女性部

休部となった。

復活に向けて、会員・非会員への県協会及び女性部の活動啓発を行っていく。

青年部

休部となった。

復活に向けて、若い世代の会員・非会員への県協会及び青年部の活動啓発を行っていく。

2020（令和2）年度 県立聴覚障害者センター業務実績報告（4月～3月）

1. センター利用に関する業務

(1) 研修室・試写室・交流ホール・談話室の利用状況

利用者数	2403人	(前年度同月比 38.4%)
①研修室	651人	(前年度同月比 41.9%)
②試写室	552人	(前年度同月比 28.0%)
③交流ホール	1061人	(前年度同月比 43.0%)
④談話コーナー	139人	(前年度同月比 50.4%)

※ 談話コーナーの利用については、利用申請を必要としていなく、大体の利用者数を把握するために任意記入の利用簿を備えて利用者の把握に努めています。

ただ、キッチンと記入する人もいれば無記入の利用者もいるので、上記の数字が利用者総数を正確に表わしているものではありません。

(月別利用実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計	前年度実績	前年度比較
4月	44	18	0	8	70	415	16.9%
5月	8	2	0	14	24	463	5.2%
6月	50	64	16	19	149	574	26.0%
7月	101	68	52	6	227	649	35.0%
8月	14	32	96	14	156	451	34.6%
9月	19	57	170	13	259	493	52.5%
10月	69	63	150	2	284	716	39.7%
11月	101	60	177	7	345	576	59.9%
12月	71	36	107	4	218	439	49.7%
1月	9	5	5	6	25	377	6.6%
2月	92	62	160	13	327	758	43.1%
3月	73	85	128	33	319	352	90.6%
合計	651	552	1061	139	2403	6263	38.4%
前年度	1553	1968	2466	276	6263	—	—
前年度比	41.9%	28.0%	43.0%	50.4%	38.4%	—	—

(曜日別利用実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計
日	95	93	333	30	548
月	82	153	104	18	357
火	121	31	126	11	289
水	0	1	0	5	6
木	74	31	103	21	229
金	104	147	162	10	423
土	175	96	233	44	548
合計	651	552	1061	139	2403

(使用目的別実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計
手話養成	213	65	517	0	795
要約養成	78	28	171	0	277
通訳者等への研修	33	8	117	0	158
手話自主学习	21	273	25	0	319
要約自主学习	151	31	0	0	182
聴覚障害者	19	7	142	2	170
その他	136	140	89	137	502
合計	651	552	1061	139	2403

(2) センターへの来訪者数 1,185人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来訪者数 (人)	78	60	122	118	77	58	137	93	123	82	94	144	1185

(3) センター機器等貸出状況

機器名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
OHC	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
OHC台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	0	0	0	2	0	0	4	4	0	1	0	3	14
接続ケーブル	0	0	0	1	0	0	4	1	0	1	0	4	11
スクリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
補聴器	12	11	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	35
携帯磁気ループ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延長コード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HUB	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4
LANケーブル	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	11	21
貸出用パソコン	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	4
コミュニン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策により予定された行事や講習会が中止になるなどセンター利用は昨年度に比べて大幅に減少しています。特に4月の緊急事態宣言発令期間と県独自の緊急事態宣言の際の利用率は前年度比10%以下でした。

2. センターの維持及び保全に関する業務

- (1) 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検を行いました。
- (2) 1週間の業務及びセンターの安全の確認のため毎週月曜日に職員の朝礼を行いました。
- (3) 新型コロナウイルス感染予防のため、消毒液を廊下及び各部屋に設置しています。
- (4) 3密を避けるため、換気に心がけています。
- (5) 4月から研修室と試写室の定員を半分の12名としていましたが、感染状況が落ち着いたことにより7月から定員を16名までとしました。
- (6) 職員はマスクを着用し、毎朝検温の実施、ドア・机等の消毒を行っています。
- (7) 飛沫感染防止パーテーションを設置し、派遣受付や職員間の感染防止対策を図っています。
- (8) 9月9日、外部委託によりワックス清掃を行いました。
- (9) 10月19日 3階、1階合同の生活情報センター自衛消防訓練が行われました。雨のため、避難訓練のみで消火器を使った消火体験は行いませんでした。
- (10) 10月20日 令和2年度第1回生活情報センター連絡会議が行われ、庁舎の修繕及び管理等について確認を行いました。
- (11) 11月22日、業者による空調切り替え作業が行われました。
- (12) 12月2日、インターネット環境整備のため株式会社白陽に交流ホール及び研修室、試写室のLAN工事をお願いしました。
- (13) 1月26日、第2事務室の照明器具の安定器故障のため取替工事を株式会社白陽にお願いし修理しました。その他相談室のLAN工事をお願いし、全ての部屋でインターネット（ZOOM）対応ができるようになりました。
- (14) 2月10日に県立聴覚障害者センターの外部委託によるワックス清掃を行いました。
- (15) 2月1日に消防機器の点検が行われました。
- (16) 3月10日に消費生活センターによりトイレの自動式蛇口の取り付け工事が行われました。
- (17) 3月17日に消費生活センターにより各部屋の害虫駆除が行われました。

3. 県立聴覚障害者センターにおける聴覚障がい者に関する啓発事業の企画運営業務 特になし

4. 聴覚障害者用字幕（手話）入りビデオカセットテープ・DVDの製作に関する業務

(1) 聴覚障がい者用字幕（手話）入りDVD等の貸出に関する業務

- ①貸出利用者数 44人
- ②貸出本数 176本
- ③月別貸出利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績	前年度比較
センター	利用者	0	0	0	4	5	7	2	14	8	3	0	1	44	130	33.8%
	本数	0	0	0	21	8	23	9	67	34	13	0	1	176	453	38.9%

④県立聴覚障害者センター貸出利用状況

	分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績	前年度比較
利用者数	ろう者	0	0	0	1	0	4	2	9	6	2	0	1	25	16	156.3%
	聴者	0	0	0	3	5	3	0	5	2	1	0	0	19	144	13.2%
	団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	合計	0	0	0	4	5	7	2	14	8	3	0	1	44	130	33.8%
貸出本数	ろう者	0	0	0	7	0	12	9	42	24	11	0	1	106	97	109.3%
	聴者	0	0	0	14	8	11	0	25	10	2	0	0	70	356	19.7%
	団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	合計	0	0	0	21	8	23	9	67	34	13	0	1	176	453	38.9%

⑤新作ビデオ（DVD）の陳列

- ・令和元年度 厚生労働省委託事業作品 16 作品 27 枚
- ・「胃部X線検査説明動画」聴覚障害者向け手話・字幕入りDVD 1 枚
- ・天皇皇后両陛下 ～令和を迎えて～ 1 枚

⑥使用期限切れ作品の消却作業

- ・315 作品 571 本

(2) 聴覚障がい者用DVD等作製

No.	題 名	時 間	備 考
1	宮崎県聴覚障害者協会からのお知らせ動画の作製	5 分	ネット配信
2	全日本ろうあ連盟依頼のインターネット配信用手話動画 (松浦理事長)の編集及び字幕付加	20 秒	納品
3	「ひなたの真ん中で」手話歌版	4 分 36 秒	ネット配信
4	遠隔手話サービスPR動画作製及びインターネット配信	5 分 19 秒	DVD 作製・ ネット配信
	合 計	15 分 15 秒	

5. 手話奉仕員、要約筆記奉仕員等の育成及び派遣に関する業務

手話通訳者等の養成カリキュラムに沿って下記の講座を実施しました。

① 手話通訳Ⅰ

講 座 第28講座～第32講座 トレーニング手話通訳Ⅲ・場面通訳
修了式 3月29日(月)

② 手話奉仕員養成

講 座 第16講座～第18講座
「話してみましようⅡ・まとめ」

③ 要約筆記者養成講座(前期)宮崎会場 手書きコース・PCコース

講 座 第5講 手書き実習・PC実習 「話しことばの基礎知識」
第6講 「社会福祉の基礎知識Ⅰ」

④ 難聴者向け手話講座

講 座 職業の手話表現・疑問文 まとめ

⑤要約筆記者体験会(都城会場)

PC要約筆記体験会 3月10日(水)

6. 聴覚障害者に対する相談業務

相談種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	職業	0	0	2	1	0	2	0	2	1	1	2	2	13
2	医療	5	4	3	4	1	1	0	2	1	1	1	0	23
3	年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	教育	0	0	6	2	0	0	0	1	1	0	0	0	10
5	住宅	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
6	生活	1	1	2	2	0	0	2	0	1	4	8	0	21
7	人間関係	0	0	3	1	7	0	2	1	0	0	0	0	14
8	保育・育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	情報・コミュニケーション	0	0	1	2	1	2	0	3	4	0	0	2	15
10	交通事故等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	手話通訳者派遣	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
12	要約筆記者派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	法律	4	1	2	3	4	3	3	3	1	1	4	2	31
14	手続き	2	1	3	0	0	0	1	0	0	0	4	0	11
15	その他	6	2	4	2	1	4	4	0	0	3	2	0	28
計		18	10	27	18	15	12	13	12	9	11	21	6	172

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
経路	来所	0	3	13	9	9	4	8	4	6	5	12	4	77
	FAX	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	TEL(LINE)	9	3	9	5	1	4	2	5	1	6	2	2	49
	家族	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	関係者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	8	4	5	3	5	3	3	3	2	0	7	0	43
計		18	10	27	18	15	12	13	12	9	11	21	6	172

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
聴覚障害者	10	7	17	12	13	6	12	4	4	7	20	4	116
健聴者	8	4	16	6	2	6	3	8	5	4	3	2	67
計	18	11	33	18	15	12	15	12	9	11	23	6	183

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
性別	男	2	5	13	6	8	3	7	3	4	3	16	3	73
	女	16	6	20	12	7	9	8	9	5	8	7	3	110
計		18	11	33	18	15	12	15	12	9	11	23	6	183

※相談に比べ、聴覚障害者、健聴者、性別の数が多いのは、1件につき数人の相談があったため。

7. 聴覚障害者に対する手話講習、技術訓練その他の教養講習の実施に関する業務

※新型コロナウイルス感染予防のため実施なし

8. その他知事が必要と認める業務

(1) ホームページ等の2020年度運用

ホームページアドレス <http://msen.sakura.ne.jp/index.html> 2001年8月22日開設

・ホームページアクセス数 4,196件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カウント	471	405	413	422	415	359	286	228	242	341	254	360	4,196

・更新件数 65件

- ・主な更新内容 ○手話や要約筆記関係の研修会のご案内 ○センター利用状況
- センターだより ○字幕付き映画情報の紹介
- 新着ビデオ情報（ビデオライブラリー）

(2) 満足度調査の実施及び集計作業

・期間 2020年11月1日～12月28日

・対象 センター利用者（回答者数 92名）

※アンケート調査後の集計と要望・意見に対する対処内容の作製

宮崎県委託事業 聴覚障がい者等福祉推進事業実績報告

1 手話奉仕員等養成・指導者研修事業

1. 目的

手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場

県内9市町で実施しました。高千穂町は実施しませんでした。別添1参照
 市独自実施：宮崎市
 市町村独自実施：日向市・都城市・小林市・西都市・高原町・三股町

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程(27時間) 基礎課程(33時間) 講義編 10時間

(4) 養成講師研修会・指導者養成研修会報告会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から研修会を中止しました。

(5) 手話体験会

手話講習会を実施できない下記の地域で手話の体験会を開き手話の普及に努めました。

【手話体験会実績一覧表】

番号	地域	会場	実施日	参加人数
1	串間市	串間市総合保健福祉センター	11月 5日	20名
			11月12日	25名
2	門川町	宮崎県立門川高等学校	10月28日	48名
		門川小学校	12月 2日	66名
		門川中学校	12月 7日	14名
			12月 8日	9名
門川町民生委員児童委員協議会	2月18日	45名		
3	都農町	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止		
4	日之影町			
5	美郷町			
6	五ヶ瀬町			
7	椎葉村			
8	西米良村			
9	諸塚村			

3. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別添1参照

県内の手話通訳者派遣事業の充実につなげるために下記の地域において実施しました。

①日向地区 ②西都・児湯地区 ③都城地区 ④西諸地区

※延岡と高千穂地区は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために講座を中止した。

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」

② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」

③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」

④ 講義編

(3) 養成時間 120時間

実技編 手話通訳Ⅰ（48時間）

手話通訳Ⅱ（45時間）

手話通訳Ⅲ（15時間）

講義編 12時間

(4) 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

【1】手話通訳者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ養成講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から研修会を中止しました。

【2】宮崎県手話講習会講師研修会

期 日 令和2年11月29日（日）

会 場 県立聴覚障害者センター 高鍋町老人福祉会館

都城市総合福祉センター 日南市 他

参加者数 47名

※ZOOMウェビナーを使用したりリモート研修を実施しました。

(5) 現任手話通訳者研修会

期 日 令和2年10月18日（日）

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 25名

※ZOOMウェビナーを使用したりリモート研修を実施しました。

(6) 手話通訳者全国統一試験対策学習会

期 日 令和2年9月20日（日）

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 25名

期 日 令和2年11月1日（日）

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 28名

(7) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和2年12月5日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者数 25名

合格者数 8名(令和3年3月2日結果発表)

小川由紀子(都城市)・福岡ちよみ(川南町)・黒木嘉代(日向市)・松葉三矢(日向市)

藤田智恵子(新富町)・荻野晶敏(宮崎市)・兒玉望早(宮崎市)・友草千栄子(宮崎市)

(8) 手話通訳士養成講座

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、6月と8月の研修会を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために講座を中止しました。

◎第31回手話通訳技能認定試験(手話通訳士)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために試験が中止されました。

【宮崎県手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表1

地域	会 場	実施日	時間・内容	手話講習会修了者数			
				奉仕員	通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
延岡市	延岡 社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-20:30	2年間 で実施			
		4月～3月	奉仕員				
日向市	日向市 総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00				
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
新富町	新富町 総合交流センター	毎週火曜日	19:30-21:30	2年間 で実施			
		4月～3月	奉仕員				
	新富町中央公民館	毎週金曜日	19:30-21:00				
		6月～3月	通訳Ⅰ				
木城町	木城町 福祉センター	毎週木曜日	19:30-21:30	2年間 で実施			
		4月～3月	奉仕員				
川南町	川南町老人会館	毎週水曜日	19:30-21:00	2年間 で実施			
		4月～3月	奉仕員				
高鍋町	高鍋老人福祉会館	毎週火曜日	19:30-21:00	2年間 で実施			
		6月～3月	奉仕員				
都城市	都城市 総合社会福祉 センター	毎週火曜日	19:00-21:00				
		5月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
日南市	日南南別館 ボランティア室	毎週水曜日	19:00-21:00	5			
		4月～3月	奉仕員				
小林市	小林 社会福祉センター	毎週水曜日	19:00-21:00		3	4	
		4月～3月	通訳Ⅰ・通訳Ⅱ				
えびの 市	えびの市 文化センター	毎週火曜日	19:30-21:00	4			
		4月～3月	奉仕員				
国富・ 綾	国富町社会福祉 協議会	毎週金曜日	19:00-21:00	2年間 で実施			
		9月～3月	奉仕員				
宮崎市	花山手・清武 聴障センター	毎週月～金	奉仕員 通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	2年間 で実施	1		2
		4月～3月					
合 計				9	4	4	2

2 要約筆記者養成・指導者研修事業

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿い講座を実施しました。

① 日向会場（PCコースを実施）：日向市障がい者センターあいとぴあ
令和2年6月～令和3年1月 パソコンコース 6名（後期）

② 宮崎会場（手書きコース、パソコンコース）
令和2年9月～令和3年3月
手書きコース 10名 パソコンコース 6名

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月日	内 容	講 師	参加者数
令和3年3月 28日（日）	手書きコース：第11講 チームワーク 実技の検証について	（特非）全要研 山岡千恵子氏	6名
	PCコース：第11講 チームワーク 実技の検証について	（特非）全要研 松井美智子氏	4名

(2) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
9月 5日 （土）	《共通》手書きコース・PCコース 要約筆記者のあり方	（特非）全要研 川野桂子氏	19名
11月14日 （土）	《共通》手書きコース・PCコース 対人支援 事例検討をとおして	（特非）全要研 山岡千恵子氏	13名
11月15日 （日）	手書きコース：ノートテイクの対応と実践		8名
	PCコース：ノートテイクの対応と実践	11名	

(3) 要約筆記体験会

期 日 令和2年8月23日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 14名 PC 4名

期 日 令和3年3月10日(水)

会 場 都城市総合社会福祉センター

参加者 PC 6名

(4) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和3年1月17日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 2名

期 日 令和3年1月24日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 PC 3名

【第2回】

期 日 令和3年2月13日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 2名

期 日 令和3年2月14日(日)

会 場 日向市障がい者センターあいとぴあ

参加者 PC 3名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和3年2月21日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者 手書き：2名 パソコン：4名

合格者 手書き：1名 パソコン：2名

(6) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和2年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者2名がリモートで参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

3 難聴者等に対するボランティア向け手話講座

1. 目的

手話を知らない難聴者・中途失聴者が、手話技術を習得することによって新たにコミュニケーションの手段を獲得し、社会参加を行えるよう支援することを目的に難聴者向けの手話講座を実施しました。

2. 対象者

身体障害者手帳の有無に関わらず手話を学びたい難聴者・中途失聴者またはその家族等を対象に実施しました。

3. 講座内容

日 程 毎週火曜日 14:00～15:30

令和2年10月6日～令和3年3月23日

※7月開講予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために延期しました。

また、1月～2月は休講しました。講座にパソコン要約筆記の協力をいただきました。

会 場 県立聴覚障害者センター

【難聴者向け手話講習会実績】

月	10月	11月	12月	2月	3月	合計
難聴者	24	15	22	5	20	86
PC 要約筆記	8	6	8	2	8	32
計	32	21	30	7	28	118

4. 講座指導講師の募集

難聴者・中途失聴者向けの手話講習会の指導を担う講師の募集を行い効果的な講座運営体制を計りました。

5. 講座指導講師の事前学習会の実施

難聴者・中途失聴者を対象とした指導に必要な指導法を講師間で事前学習を行い円滑な意義ある講座としました。

6. 難聴者・中途失聴者受講者に対する情報提供

地域や家庭内においても情報・コミュニケーションから疎外されている難聴者・中途失聴者の受講生に対し必要な情報提供を行いました。

4 手話通訳者等派遣事業

事業所等が主催する行事に配置する手話通訳者及び要約筆記者の派遣を実施しました。

No.	関係機関		人数	備考
1	会計課	令和2年度財務会計「実務研修」	6名	要約筆記者6名
2	教育研修センター	令和2年度 第2回県立学校5年経過研修	8名	手話通訳者4名 要約筆記者4名
3	教職員課	令和3年度 宮崎県公立学校教員採用選考 第二次試験	1名	手話通訳者1名
4	高校教育課	第42回宮崎県高等学校総合文化祭	2名	手話通訳者2名
5	都市計画課	第4回「美しい宮崎づくり」のつどい	2名	手話通訳者2名
6	生涯学習課	共に学び、生きる共生社会コンファレンス	4名	手話通訳者4名
7	秘書広報課	知事定例記者会見（14回）	28名	手話通訳者28名
8	秘書広報課	知事緊急記者会見（47回）	93名	手話通訳者93名
9	秘書広報課	新型コロナ関連知事メッセージ（2回）	2名	手話通訳者2名
10	秘書広報課	新型コロナ関連知事メッセージCM（4回）	4名	手話通訳者4名
合 計			150名	

※キャンセルコロナによる催事中止が3件、知事会見が1件ありました。

5 手話通訳者及び要約筆記者の健康に関する相談対応事業実績報告

1. 目的

本県の聴覚障害者の社会参加を支える手話通訳者・要約筆記者の健康と安全を確保することを目的に下記の事業を行いました。

2. 事業内容

(1) 特殊検診担当医師の協力

獅子目整形外科の獅子目亨医師の協力により実施しました。

(2) 問診の実施

102名の健康調査の中で自覚症状が一つでもある方85名に対し獅子目亨医師により問診を行いました。

そのうえで特殊検診受診者を選定しました。

(3) 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳介助員に対する特殊検診実施

令和元年度に実施した手話通訳者及び要約筆記者健康調査結果の中でからだと心の「自覚症状」が複数ある方の中から17名に実施しました。

会 場	期 日	受診者数
県立聴覚障害者センター（試写室）	11月22日（日）	6名
	12月13日（日）	9名
	3月28日（日）	2名
	合計	17名

手話通訳設置事業報告書

1. 目的

身体障がい者福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳者を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もってその福祉の増進を図ることを目的として手話通訳設置事業を実施しました。

2. 実施の方法

専任者を採用し、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会事務所に常駐させ、下記の内容の業務に当たりました。

3. 業務内容は次のとおり。

- (1) 県関係の手話通訳全般
- (2) 意志疎通支援事業の推進と指導
- (3) 関係機関・聴覚障がい者等からの依頼に応える手話通訳および手話通訳者
- (4) 手話関係事業の事務整理・連絡
- (5) 聴覚障がい者等の支援等についての相談等を関係機関に伝達するための仲介
- (6) 民生員、医療機関等、日常生活における相談、支援等を行う機関からの依頼に応える手話通訳
- (7) 遠隔手話サービスの利用促進に向けた普及啓発

4. 通訳実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	7
2 手続き	0	0	0	3	0	0	0	0	3	3	0	1	10
3 縁談・結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 家族関係	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
7 住宅・住居	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
8 保健・医療	8	3	4	1	1	2	0	1	1	1	0	0	22
9 集会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 警察	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
12 裁判	3	1	0	2	2	2	1	1	0	0	2	0	14
13 会議	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
14 講習会	0	1	2	5	3	1	2	1	0	0	0	0	15
15 その他	5	5	6	2	7	2	4	2	5	2	0	0	40
計	19	10	13	13	15	7	8	5	12	7	4	3	116

盲ろう者向け通訳・介助員養成・指導者研修事業実績報告

1. 盲ろう者向け通訳、介助員養成講座

盲ろう者向け通訳・介助員養成カリキュラムをもとに本県の盲ろう者の社会参加促進のための効果的な事業を下記日程で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。

(1) 1回目募集

9月27日、10月11日、11月8日、12月13日、1月17日

(2) 2回目募集

1月10日、1月17日、1月31日、2月14日、3月7日

2. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講

Web会議サービス「Zoom」を利用したオンライン研修として実施されました。

日 程：2021年1月30日（土）

1月31日（日）

2月 7日（日）

2月28日（日）

（計4日間）

会 場：県立聴覚障害者センター

受講者：大杉伸征氏

3. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座講師打ち合わせ

盲ろう者向け通訳、介助員養成講座開催に際し宮崎県盲ろう者友の会と講師打ち合わせを行いました。

(1) 期日

令和2年7月12日（日）10:00～

(2) 場所

県立聴覚障害者センター（第2事務室）

(3) 協議内容

- ① 講座案内について
- ② 開催要項（案）について
- ③ 新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年度 県立高等学校生活支援員配置事業 実績報告

1、目的

県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒が、教育課程を円滑に履修できるように必要に応じて支援を行う生活支援員を配置し、教育の機会均等を保障する。

2、業務委託先契約先並びに対象者（聴覚に障がいのある生徒）

- ・宮崎県立宮崎北高等学校 1名（2年生）
- ・宮崎県立宮崎大宮高等学校 1名（1年生）

3、支援実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
宮崎北	人員	8	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	54	
	日数	10	11	20	18	6	14	18	14	15	9	12	15	162
	時間	28.25	40.50	86.50	71.25	23.50	53.25	67.25	56.75	56.50	36.50	42.75	64.75	627.75
大宮	人員	9	7	6	7	5	6	5	5	5	5	5	70	
	日数	9	10	19	23	14	20	21	16	17	9	12	15	185
	時間	41.25	57.25	108.75	120.25	67.00	116.00	121.25	97.00	84.75	43.75	69.75	57.75	984.75

年間支援限度時間：900時間

宮崎北高校では、当初6名の支援員をメインに1日2名の支援員配置で1名が3限～5限を担当した。ただ、HR（ホームルーム）・体育・美術・英語は支援不要でしたので支援時間には余裕が持てた。支援員1名が学校内で体調を崩し、そのまま支援員を辞退することになったが、残りの支援員が補うことで支援継続ができた。また、音声変換アプリによる情報保障が試され対象者も利用している。

大宮高校では、当初4名の支援員をメインに1日2名の支援員配置で1名が3限～5限を担当していたが、支援員1名が辞退することになり、2名の支援員を追加し5名体制で支援継続ができた。音声変換アプリによる情報保障が試されたが、利用はされなかった。

4、関係者会議

- ・宮崎北高校 1回（4月6日）
- ・宮崎大宮高校 1回（4月7日）

新型コロナウイルス感染防止のため、先生方との顔合わせの時間を設けていただき、支援員の役割を説明することができた。

宮崎市 情報保障・コミュニケーション支援事業報告

1 宮崎市手話通訳者・要約筆記者派遣事業

【手話通訳派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において手話通訳を必要とする際に、手話通訳者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として手話通訳者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者研修会

研修会、学習会とも新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。

(登録手話通訳者研修会)

期 日 令和2年7月26日(日) 10:00~15:00

登録手話通訳者等学習会

期 日 令和3年2月7日(日) 10:00~12:30

3. 運営委員会

期 日 令和2年6月12日(金) 18:30~

会 場 県立聴覚障害者センター 試写室

内 容 2019(平成31)年度活動報告・収支決算について
令和2年度活動計画・収支予算について

4. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	43	37	55	66	57	49	86	56	52	52	68	65	686	57.2
通訳者	11	15	11	14	13	12	17	15	13	11	15	16	163	13.6
対象者数	24	26	27	33	28	29	39	31	28	25	26	29	345	28.8
派遣時間	54.0	52.5	78.0	105.0	84.0	83.5	148.0	90.5	94.5	89.0	122.5	107.0	1108.5	92.4

① 年間の通訳派遣件数は686件で、毎月の平均は57.2件。昨年度の派遣件数は735件で大きく減りました。利用者については、年間345名で月平均は28.8名となっており、昨年度(31.3名)と少し減りました。

② 派遣時間は月平均92.4時間となっており、月平均13.6名の通訳者を派遣しました。

5. 派遣内容

集会・講演	0	冠婚・葬祭	8	学校・教育	19	その他	48
会議	6	司法・警察	28	育児・保育	4		
住宅・住居	4	医療・保健	518	家族関係	3		
ｽｰﾍﾞｰｽ・ﾘｸｪｰｽﾄ	1	職業・労働	21	手続	26	合計	686

※派遣の内容は、「医療・保健」が7割強を占め、次いで「司法・警察」、「手続き」、「職業・労働」「学校・教育」となりました。

6. まとめ

手話通訳者統一試験合格者 1 名が新たに派遣登録を行い、3月31日現在の登録手話通訳者は56名となっています。派遣については、利用者の希望に添い通訳者を選任していますが、通訳者に負担のかからないようコーディネートを行いました。利用者の高齢化も進み自宅での生活が多くなっています。できるだけ派遣を利用しながら社会参加が出来るよう配慮したいと思います。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、不要不急の外出の自粛と通訳者等へのマスク着用について利用者へ理解を求めました。

年々、相談も多くなっており、それに伴い専門的な相談もあります。通訳者の養成とも連携しながら技術面の向上を目指す研修の内容を検討します。

【要約筆記者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において要約筆記を必要とする際に、要約筆記者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として要約筆記者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者研修会

研修会、学習会とも新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。

（登録手話通訳者研修会

期 日 令和2年7月26日（日）10:00～15:00

登録手話通訳者等学習会

期 日 令和3年2月7日（日）10:00～12:30

3. 運営委員会

期 日 令和2年6月12日（金）18:30～

会 場 県立聴覚障害者センター 試写室

内 容 2019（平成31）年度活動報告・収支決算について
令和2年度活動計画・収支予算について

4. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	0	0	1	1	1	4	2	1	3	1	1	4	19	1.6
通訳者	0	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	11	0.9
対象者数	0	0	1	1	1	3	2	1	3	1	1	1	15	1.3
派遣時間	0.0	0.0	1.0	1.5	0.5	7.5	2.0	1.5	4.0	1.5	1.5	8.5	29.5	2.5

①年間の要約筆記者派遣件数は19件で、毎月の平均は1.6件。昨年度の派遣件数は83件で激減しました。利用者は、年間15名で月平均は1.3名となっており、昨年度（3.9名）から減りました。

① 派遣時間は月平均2.5時間となっており、月平均0.9名の要約筆記者を派遣しました。

5. 派遣内容

集会・講演	0	冠婚・葬祭	0	学校・教育	0	その他	1
会議	0	司法・警察	0	育児・保育	0		
住宅・住居	0	医療・保健	17	家族関係	0		
スポーツ・レクリエーション	0	職業・労働	0	手続	1	合計	19

※派遣の内容は、「医療」が9割。－昨年25件あった「会議」が0件でした。

6. まとめ

要約筆記者統一試験合格者等2名（パソコン2名）が新たに派遣登録を行い、3月31日現在の登録要約筆記者は33名となっています。また、新型コロナウイルス感染防止のため、通訳者等へのマスク着用について利用者へ理解を求めました。

要約筆記の派遣件数はまだ少なく、難聴者自身が要約筆記を利用することをしません。要約筆記が付くことでより情報が正確に伝わることを理解してほしいです。その為には、利用者の経験をお話する場を設けるなど、広報活動等を工夫したいです。

2. 手話奉仕員等養成事業実績報告

1. 目的

宮崎市手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 運営委員会設置

「宮崎市手話奉仕員等養成事業に関する運営委員会」を設置し、宮崎市における手話奉仕員等養成事業の効果的な運営を図った。

期 日 令和3年3月23日（火）

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 8名

3. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場 別表1 参照

- ① 宮崎市総合福祉保健センター
- ② 宮崎市清武総合福祉センター
- ③ 県立聴覚障害者センター

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開講を延期し、2年間にわたり講座を実施しました。

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程（27時間）基礎課程（33時間）

講義編 10時間

(4) 養成講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から研修会を中止しました。

4. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別表1 参照

- ① 宮崎市総合福祉保健センター
- ② 県立聴覚障害者センター

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開講を延期しました。

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

- ① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」
- ② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」
- ③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」
- ④ 講義編

- (3) 養成時間 120 時間
 実技編 手話通訳Ⅰ（48 時間） 手話通訳Ⅱ（45 時間） 手話通訳Ⅲ（15 時間）
 講義編 12 時間
- (4) 養成講師研修会
 講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。
 【1】手話通訳者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ養成講師研修会
 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から研修会を中止しました。
 【2】宮崎県手話講習会講師研修会
 期 日 令和2年11月29日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター 高鍋町老人福祉会館
 都城市総合福祉センター 日南市 他
 参加者数 47名
 ※ZOOMウェビナーを使用したりリモート研修を実施しました。
- (5) 現任手話通訳者研修会
 期 日 令和2年10月18日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 25名
 ※ZOOMウェビナーを使用したりリモート研修を実施しました。
- (6) 手話通訳者全国統一試験対策学習会
 【第1回】
 期 日 令和2年9月20日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 25名
 【第2回】
 期 日 令和2年11月1日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 28名
- (7) 手話通訳者全国統一試験
 期 日 令和2年12月5日（土）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 受験者数 25名
 合格者数 8名（令和3年3月2日結果発表）
 小川由紀子（都城市）・福岡ちよみ（川南町）・黒木嘉代（日向市）・松葉三矢（日向市）
 藤田智恵子（新富町）・荻野晶敏（宮崎市）・兒玉望早（宮崎市）・友草千栄子（宮崎市）
- (8) 手話通訳士養成講座
 手話通訳技能認定試験（手話通訳士）合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、6月と8月の研修会を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために講座を中止しました。
 ◎第31回手話通訳技能認定試験（手話通訳士）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために試験が中止されました。

【宮崎市手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表1

会 場	実施日	時間・内容	修了者数			
			奉仕員	通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
宮崎市総合福祉 センター	毎週火曜日	19:00-21:00	2年間で実施			
	9月～3月	奉仕員				
	毎週月曜日	19:00-21:00		14		19
	6月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
県立聴覚障害者 センター	毎週木曜日	13:30-15:30	2年間で実施			
	9月～3月	奉仕員				
	毎週月・金曜日	13:30-15:30		4		8
	6月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
清武総合福祉 センター	毎週木曜日	19:00-21:00	2年間で実施			
	9月～3月	奉仕員				
	合 計			18		28

3 要約筆記者養成事業実績報告

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上
 必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）
 選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座（前期）

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。
 宮崎会場（手書きコース及びPCコースの両クラスを実施）
 令和2年9月～令和3年3月 手書きコース 10名 パソコンコース 6名

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月日	内 容	講 師	参加者数
令和3年3月 28日（日）	手書きコース：第11講 チームワーク 実技の検証について	（特非）全要研 山岡千恵子氏	6名
	PCコース：第11講 チームワーク 実技の検証について	（特非）全要研 松井美智子氏	4名

(2) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
9月 5日 （土）	《共通》手書きコース・PCコース 要約筆記者のあり方	（特非）全要研 川野桂子氏	19名
11月14日 （土）	《共通》手書きコース・PCコース 対人支援 事例検討をとおして	（特非）全要研 山岡千恵子氏	13名
11月15日 （日）	手書きコース：ノートテイクの対応と実践		8名
	PCコース：ノートテイクの対応と実践	11名	

(3) 要約筆記体験会

期 日 令和2年8月23日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 14名 PC 4名

(4) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和3年1月17日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 2名

期 日 令和3年1月24日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 PC 3名

【第2回】

期 日 令和3年2月13日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 2名

期 日 令和3年2月14日(日)

会 場 日向市障がい者センターあいとぴあ

参加者 PC 3名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和3年2月21日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者 手書き：2名 パソコン：4名

合格者 手書き：1名 パソコン：2名

(6) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和2年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者2名がリモートで参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

4 手話ビデオ等作製事業実績報告

市広報紙の情報を手話ビデオ化することによって、情報が容易に得られるようにし、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の読解力及び情報不足を補う。

	題 目	本数	分	取扱	複製数	備考
1	市広報「みやざき」手話ビデオ4月号(No.284)	1	30	納品	45	V5+D40
2	市広報「みやざき」手話ビデオ5月号(No.285)	1	45	納品	45	V5+D40
3	市広報「みやざき」手話ビデオ6月号(No.286)	1	55	納品	45	V5+D40
4	市広報「みやざき」手話ビデオ7月号(No.287)	1	55	納品	45	V5+D40
5	市広報「みやざき」手話ビデオ8月号(No.288)	1	49	納品	45	V5+D40
6	市広報「みやざき」手話ビデオ9月号(No.289)	1	35	納品	45	V5+D40
7	市広報「みやざき」手話ビデオ10月号(No.290)	1	55	納品	45	V5+D40
8	市広報「みやざき」手話ビデオ11月号(No.291)	1	47	納品	46	V5+D41
9	市広報「みやざき」手話ビデオ12月号(No.292)	1	50	納品	46	V5+D41
10	市広報「みやざき」手話ビデオ1月号(No.293)	1	54	納品	46	V5+D41
11	市広報「みやざき」手話ビデオ2月号(No.294)	1	54	納品	46	V5+D41
12	市広報「みやざき」手話ビデオ3月号(No.295)	1	49	納品	46	V5+D41
	合 計	12	578		545	

■貸出状況

取扱先(配布数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮崎市関係(10)	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	18
市社会福祉協議会(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市聴覚障害者協会(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立聴覚障害者センター(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	18

※宮崎市関係取扱先(市障がい福祉課、佐土原総合支所、田野総合支所、高岡総合支所、清武総合支所、市立図書館、宮崎市立佐土原図書館、田野児童センター、穆園館、清武文化会館)

■送付状況

計	26	26	26	26	26	26	26	27	27	27	27	27	317
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

■作製協力者数

計	5	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	6	77
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

その他の取り組み

- ・毎月、出演者と手話表現に関する打合せを行った。

今後の課題

- ・利用者より「完成時期を早くしてほしい」(毎月10日頃)との要望が出ているので、可能な限り応えていきたい。

令和2年度市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

県内26市町村のうち18市町村(4市11町3村)と「手話通訳者等及び要約筆記者派遣事業」の委託契約

市町村名		年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
宮崎市	手話	令和2年度		43	37	55	66	57	49	86	56	52	52	68	65	686		
		令和1年度		65	70	63	67	56	73	59	65	65	56	45	48	68	735	
	要約	令和2年度		0	0	1	1	1	4	2	1	1	3	1	1	4	19	
		令和1年度		14	4	8	8	12	6	3	8	8	2	10	6	2	83	
西都市	手話	令和2年度		0	1	1	0	1	0	1	3	2	1	4	3	17		
		令和1年度															0	
日南市	手話	令和2年度		0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
		令和1年度		3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
串間市	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西諸県郡	高原町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東諸県郡	国富町	要約	令和2年度		2	1	3	1	2	1	1	1	2	1	1	1	17	
			令和1年度		3	3	5	5	5	3	1	1	2	0	2	1	31	
	綾町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児湯郡	高鍋町	手話	令和2年度		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	
			令和1年度		1	0	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0	9	
		要約	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	新富町	手話	令和2年度		0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	
			令和1年度		0	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5
	西米良村	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木城町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	都農町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東臼杵郡	美郷町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	椎葉村	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	諸塚村	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西臼杵郡	高千穂町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	日之影町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五ヶ瀬町	手話	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和1年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	手話	令和2年度		43	38	57	70	59	49	87	60	54	53	73	69	712		
		令和1年度		69	72	66	70	58	75	59	67	57	47	48	68	756		
	要約	令和2年度		2	1	4	3	4	5	3	2	4	3	2	6	39		
		令和1年度		17	7	13	13	17	9	4	9	4	10	10	3	116		
合計	手話・要約	令和2年度		45	39	61	73	63	54	90	62	58	56	75	75	751		
		令和1年度		86	79	79	83	75	84	63	76	61	57	58	71	872		

当協会と契約外の市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	
延岡市	手話	令和2年度	292	日向市	令和2年度	手話	154	北諸県郡	三股町	令和2年度	手話	0
		令和1年度	223		令和1年度	224	令和1年度			2		
	要約	令和2年度	12		令和2年度	要約	0	東臼杵郡	門川町	令和2年度	手話	1
		令和1年度	9		令和1年度	3	令和1年度			6		
都城市	手話	令和2年度	336	小林市	令和2年度	手話	60	児湯郡	川南町	令和2年度	手話	0
		令和1年度	307		令和1年度	68	令和1年度			0		
	要約	令和2年度	0	えびの市	令和2年度	手話	105					
		令和1年度	2		令和1年度	87						

通訳者派遣事業実績報告書

3. 企業・団体等からの依頼による手話通訳者・要約筆記者の派遣実績

1. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	1	1	4	4	5	2	8	9	4	2	4	10	54
活動人数	2	1	5	4	6	2	10	10	5	3	5	10	63
派遣時間	4.5	1.5	9.5	8.5	8.5	2.5	23.5	20.0	8.5	3.0	10.5	17.5	118.0
要約筆記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
活動人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
派遣時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.5	6.5
合計	1	1	1	2	0	1	0	1	1	2	1	0	11
キャンセル	2	1	4	4	5	2	8	9	4	2	4	11	56

2. 派遣内容

項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計
集会・講演	13	司法・警察	1	冠婚・葬祭	0	そ の 他	18
会 議	7	医療・保健	6	育児・保育	0		
住宅・住居	0	職業・労働	8	家族関係	0		
入 力 - ツ クリエーション	0	学校・教育	1	手 続	1	合 計	55

2020（令和2）年度 全国手話検定試験事業（自主事業）

1. 第15回全国手話検定試験

新型コロナウイルス感染防止対策により2月に日程変更で実施されました。

(1) 手話検定試験学習会（受験者対象）

令和3年1月16日（日）に開催予定でしたが、県独自の緊急事態宣言発令のため中止し、個別対応で行いました。

(2) 手話検定試験（面接委員・要員）説明会

県独自の緊急事態宣言発令のため中止し、個別に説明資料を送付し対応しました。

(3) 実施結果

新型コロナウイルス感染防止対策のため延岡会場、都城会場は中止し、宮崎会場のみの実施としました。

会場	県立聴覚障害者センター						計
	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	
期日	2月27日（土）		2月28日（日）		2月23日 （火・天皇誕生日）		
申込数	19	29	29	20	6	3	106
受験者数	19	29	26	19	6	3	102

2. 2020インターネット受験第15回全国手話検定試験

(1) ZOOM使用説明会

インターネット全国主検定試験の面接委員及びタイムキーパーの試験の流れ、ZOOM使用説明会を3月4日（木）、6日（土）に実施しました。

(2) 受験者状況

(3) 実施結果

会場	県立聴覚障害者センター		
	2級	準1級	計
期日	3月7日（日）・3月13日（土）		3月20日 （土・春分の日）
申込数	46	26	72
受験者数	40	21	61

2020（令和2）年度 図書販売等事業報告

1) 目的

聴覚障害者、手話通訳者、手話学習者等に手話や聴覚障害についてより理解していただくために、全日本ろうあ連盟及び全国手話研修センターが発行している手話イラストやDVD等で構成された図書等の販売及び情報提供を行った。

2) 販売結果

2020年度の図書等の仕入・販売金額については下記のとおり。新型コロナウイルス感染拡大を受けて講習会の実施と延期について各会場の判断が分かれたことで、4月～6月と9月に販売実績が分散する形になった。総販売数は昨年の1,377冊からさらに大きく落ち込んでおり、一層収益が厳しくなっている。

3) 課題

収益は約41万円となったが、これは昨年、消費税10%の値上げ前に手話講習会テキストを多めに仕入れたことが大きい。今年は宮崎市の手話奉仕員養成講座が昨年9月から始まったことで途中からの開講となるため、手話奉仕員養成テキストの購入が例年ほど見込めないため、さらに販売数が落ち込むと考えられる。さらに新型コロナウイルス感染拡大が続いていることから、今年も収益事業は厳しい情勢となることが想定される。

2020年度 月別仕入・販売金額表

	仕 入		販 売	
	数量（冊）	金額（円）	数量（冊）	金額（円）
4月	371	945,528	153	562,529
5月	90	66,870	122	171,152
6月	79	111,412	169	386,788
7月	50	29,230	42	66,650
8月	50	73,209	21	52,069
9月	78	86,470	173	375,826
10月	20	25,169	39	59,442
11月	0	0	15	39,989
12月	58	48,434	26	64,630
1月	1	1,193	29	45,370
2月	20	56,133	15	17,650
3月	28	21,280	24	30,778
合計	845	1,464,928	828	1,872,873

2020年度苦情解決体制の整備に伴う「第三者委員」の報告

2020年度における社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会及び県立聴覚障害者センター運営等に関する苦情の受付は1件もありませんでした。

その理由は、利用施設であり、入所施設のような人権、自己負担等の利害に関わるケースがないためと考えられます。また、センターでは年に1回満足度調査を実施し、利用者からいただいたご意見に対して出来る範囲で対応しているところです。今後も適切な福祉サービスの充実に努めていきます。

2021年3月31日

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
理事長 堀田 享志